密集住宅市街地整備促進事業【密集事業】を開始しました!

密集事業とは、木造住宅が密集し防災上危険性の高い地域において、防災性の向上と良好な 住環境の整備を促進し、災害に強いまちをつくることを目的とした事業です。

荒川一・三丁目地区の範囲

(整備済・既成)

一 優先整備路線

(事業中)

延烷遮断带形成事業

····· 生活道路·区画道路

- 幹線道路

公共施設

主要生活道路 (幅員6m以上) 主要生活道路

公園・児童遊園 防災広場・防災スポット グリーンスポット



●優先整備路線の整備

(幅員6m未満)

災害時の円滑な消防活動や避難を可能とするために、 「優先整備路線」の幅員6mへの拡幅整備を目指してい ます。

●建替え支援

密集住宅市街地整備促進事業地区内にて、燃えにくい良好な市街地形成のための検討や、防災力の向上、 建物へ建て替える場合、建築費の一部を助成します。

●公園・防災スポット等の整備

ゆとりある住環境を生み、防災性を向上させるために、 日常的な憩いの場、災害時には有効なオープンスペー スとなる公園や防災スポット等を整備します。

●防災まちづくり活動の支援

事業推進に向けた協議会活動等を行っています。

ぼうさい豆知識

~ 消防活動困難区域と幅員6m道路~

連続性のある幅員6m以上の道路から 140m

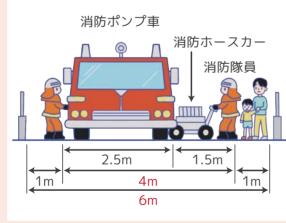
▶「消防活動困難区域」ってなに?

以上離れた区域(消防ポンプ車からホースを つないでも届かない区域)をいいます。



● 何で幅員6m以上あると良いの?

日常生活での交通の利便性や災害時の救助 活動、避難の観点から、幅員 6m以上の道路 が望ましいとされています。



▲幅員6mの道路イメージ

お問い合わせ先(事務局)

荒川区防災都市づくり部住まい街づくり課

電話 03-3802-4319 FAX 03-3802-4104

荒川一・三・南千住一・五丁目地区における まちづくりについてはこちらから▶



【発行】

荒川一・三丁目地区防災まちづくり協議会

荒川区防災都市づくり部住まい街づくり課 (協力:株式会社地域計画連合)

温川まちづくりニュ



荒川一・三丁目地区防災まちづくり協議会を設立しました!

防災まちづくりの取り組みを進めてきた荒川一・三丁目の地域の皆さんと行政が協働で防災 まちづくりを進める会議体として、令和7年6月30日に第1回となる『荒川一・三丁目地区 防災まちづくり協議会』を開催しました。本協議会では、防災性・住環境の向上に向けた活動 を行っていきます。

第1回では、地区の課題とめざす姿について意見交換しました。当日のご報告については、 中面に掲載しています。

防災まちづくり協議会の活動







まちづくりの計画の 実現に向けた活動



まちづくりの広報や 普及・啓発活動



▲第1回の様子 (生涯学習センターにて)

~防災まちづくり協議会メンバー~

本地区内に土地・建物を所有する方・お住いの方・働いている方で、

- 町会・商店会から推薦された方
- 消防署の方
- まちづくり活動に興味をお持ちで、公募された方 などで構成

サテライト会員を募集します!

協議会は、アンケートの結果から参加者の多い平日の夜を基本として開催しますが、お仕事 などで参加が難しい方を対象に協議会のサテライト会員を募集します。

サテライト会員とは、協議会の開催前に事務局から資料を送付し、ご意見シート等を提出す ることで、間接的に協議会にご参加いただく制度です。

以下の申込みフォームまたはお電話でお申込みください!

まちの防災について考えたい!

協議会に興味があるけど、 平日夜の参加は難しい



申込みフォームは こちらから

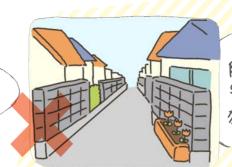


- 3 -

第1回協議会では、3つのグループに分かれて地域としての防災性を高めるために、防災と住環境に関して地区が抱える課題を共有しましたので、その一部をご紹介します。



建売ができると、建物の間隔が狭い。 場所によっては間隔が広いところも ある。



00

防犯の面でも見通しが良いと安心! 災害時にブロッり塀が倒れると、 狭い道が寒がれてしまう。



現状では、地区内に派手なり 色の建物や危険な看板を見 かけない。

3班

1班



地区内でボヤが起きた時、消火活動ができなかった。

細い路地は防災上は危険だが、道端の猫や花でホッとするなどの魅力がある。

最近、外国の方が多くなっている。 外国人の滞在者に対する災害時等の 案内がないと、災害時にパニックに なると思う。



高さが気になる建物は見当たらない。

000



人が住んでいる建物が密集して) いて、建詰まりの解消は難しい。 密集していると犬災時にも危ない



消防車が通れない狭い道が多い。 建替えでセットバックしても、電柱が 交通の邪魔になっている。

100



狭い道路に置いれたゴミや植木鉢は、 防災や緊急車両が進入するうえで と問題。

🦲 協議会の今後の予定

今後のまちづくり協議会では、第 1 回の検討結果を踏まえ、まちの住環境や防災性を維持・向上させていくための方法として、**まちづくりルール**(地区計画)を検討していきます。

まちづくりルール(地区計画)とは?

まちづくりルール(地区計画)は、新たに建物を建てる時に適用されるルールです。

まちづくりルールで定められる内容(例)

- 建物の高さをおさえるルール
- 地域にふさわしくない用途の建物を 防ぐルール
- 道路区域内の建築を防ぐルール
- 危険なブロック塀を防ぐルール …など



● まちづくりルール(地区計画)の検討の流れ

まちづくりルールは、地区の実情や特徴に合わせて内容を定めるものです。 そのため、地域の皆さんのご意見や意向を伺いながら、住民と行政が協働して検討していきます。

令和7年度

協議会

6月30日 第1回 **第2回** ルールの 項目の検討 **第3回** ルールの 詳細の検討① **第4回** ルールの 詳細な検討②

第5回~

意見等を共有

地区全体)

地区全体に関するアンケート調査を実施予定です。

優先整備 路線の沿道

権利者に向けてヒアリング調査や意見交換会を実施予定です。